

2020年度第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ フェニックス賞

フェニックス (Phoenix) は、ヤシ科の植物。外来種であり、南九州地区に多く見られる。また、エジプト神話の不死鳥のこと。アラビアの砂漠に住み、500年に一度、自ら火中に入って焼かれ、その灰の中から幼鳥の姿となって再生するなどの言い伝えがある。

○ 西部日刊スポーツ杯

西部日刊スポーツは、福岡市に本社を置く日刊スポーツ新聞西日本西部本社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 阿蘇ステークス

阿蘇 (あそ) は、九州中央部にある複式活火山。中央には、高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえる。外輪山と数個の中央火口丘からなり、世界でも有数な規模のカルデラを形成している。また、熊本県北東部、阿蘇山の北麓に位置する市。温泉やキャンプ場などが多数あり、観光地として人気がある。

<第2日>

○ 筑紫特別

筑紫 (ちくし) は、九州の古称。「つくし」ともいう。筑前国、筑後国を中心とする北九州を指す場合や、九州全体を指す場合などがある。

○ 博多ステークス

博多 (はかた) は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港として、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。毎年5月に催される「博多どんたく」、7月に催される「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区には JRA の場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

本競走は、昭和40年に創設された重賞競走。当初より2000mのハンデキャップ戦で実施されていたが、平成7年に別定重量戦に変更された。12年より再びハンデキャップ戦となり、現在に至る。

○ RKB賞

RKBは福岡市に本社を置くRKB毎日放送の略称。昭和26年開局で、TBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 都井岬特別

都井岬（といみさき）は、宮崎県南端、日向灘と志布志湾とを分ける岬。日南海岸国定公園に属し、国の天然記念物であり現存する日本在来馬のひとつである御崎馬が生息している。

○ ウインズ宮崎開設10周年記念宮崎特別

本競走は、ウインズ宮崎開設10周年を記念して実施される。

宮崎（みやざき）は、九州南東部の県。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。また、同県南東部の市。同市は、JRAの競走馬育成施設である宮崎育成牧場の所在地であり、育成された競走馬は主にJRAブリーズアップセールで売却され、JRA育成馬としてデビューする。

なお、牧場内にはJRAの利用者登録制の場外勝馬投票券発売所であるウインズ宮崎がある。

○ 佐世保ステーキス

佐世保（させぼ）は、長崎県北部、北松浦半島南岸の市。オランダの街並みを再現したテーマパーク「ハウステンボス」が有名で、年間を通して多くの観光客で賑わっている。

なお、同テーマパーク内にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ佐世保がある。

<第4日>

○ 西部スポニチ賞

スポニチは、東京と大阪に本社を置くスポーツニッポン新聞社が発行しているスポーツ紙の略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 薩摩ステーキス

薩摩（さつま）は、西海道に位置する旧国名。現在の鹿児島県の西半分にあたる。戦国時代以降は島津氏の統治下にあった。三方を海に囲まれた環境であることから古来より貿易が盛んで、海外文物の流入地ともなっていた。

○ サマースプリントシリーズテレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第4戦。

本競走は、昭和41年に創設された重賞競走。当初は2000mのハンデキャップ戦であったが、44年に短縮されて1800mとなり、47年より別定重量戦に変更された。平成18年より1200mのハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。昭和33年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 小倉サマージャンプ（J・GⅢ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。正面中央の竹柵障害は、120cm・130cm・140cmの3段階に高さが可変する上下動式障害で、本競走は高さ140cmを使用して行われる唯一の競走。

○ ひまわり賞

ひまわり（向日葵）は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏に周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

なお、本競走は、釜山慶南競馬公園馬主協会より寄贈賞を受けており、本年は九州馬主協会との交流10周年を迎える。

○ 西海賞

西海（さいかい）は、西方の海のこと。特に、瀬戸内海または九州の海を指す。また、西海道の略。西海道は、五畿七道のひとつで、今の九州地方全域にあたる。現在では主として西九州方面を意味し、西海国立公園や西海橋などの名称に使われている。

○ 釜山ステークス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は姉妹競馬場として提携している。

<第6日>

○ 英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境にある奇石、奇峰に富む火山群の主峰。標高1,199m。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）と銅鳥居（かねのとりい）や、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○ 九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社が九州地区で発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉日経オープン

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 天草特別

天草（あまくさ）は、天草諸島にある市。また、同諸島の略称。天草諸島は、熊本県宇土半島の南西にある島々。上島、下島を主島とする120余の島からなり、地理上は鹿児島県の長島なども含まれる。温暖な気候で、一年を通してイルカウォッチングが楽しめる。

○ 桜島ステークス

桜島（さくらじま）は、鹿児島湾にある複合活火山。大正3年の大噴火で大隅半島と地続きとなった。南岳は現在も噴火を繰り返している。特産品として桜島大根が有名。

○ テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。平成3年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ 別府特別

別府（べっふ）は、大分県中部、別府湾奥にある市。別府八湯を中心に発展した温泉地として有名。温泉熱を利用した研究所・療養所・保養所などの施設が集中している。

○ 西日本スポーツ杯

西日本スポーツは、福岡市に本社を置く西日本新聞社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和56年に創設された重賞競走。平成12年までは『小倉3歳ステークス』として実施されていたが、13年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。創設当初から1200mで実施され、夏の小倉開催のフィナーレを飾る競走として定着している。